

東濃圏域糖尿病医療連携講演会プログラム（案）

1 目的

糖尿病は増加の一途をたどっており、脳血管疾患や糖尿病性腎症による透析導入者の増加など医療保険財政上の負担も大きく、その対策については、医師、コメディカル、行政関係者が、連携・協働していく必要がある。

今回の講演会では、糖尿病や、その予備群への対応において、医療連携の必要性を理解し、関係者各々の役割を認識し、東濃地域における糖尿病医療連携パスの運用に繋げることを目的とする。

2 日時

平成23年10月26日（水）14:00～16:00

3 場所

瑞浪市総合文化センター 3階講堂
（瑞浪市土岐町7267番地の4 TEL0572-68-5581）

4 対象者

医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、管理栄養士、栄養士、行政職員 等

5 実施体制

主催：岐阜県東濃保健所、恵那保健所

共催：地方独立行政法人岐阜県立多治見病院、多治見市医師会、土岐医師会、恵那医師会

後援：岐阜県医師会、岐阜県糖尿病対策協議会

6 内容

(1) あいさつ : 14:00～14:05 (5分)

(2) 情報提供 : 14:05～14:10 (5分)

・「東濃各市の生活習慣病関連指標の現状について」 東濃保健所健康増進課

(3) 講演 : 14:10～15:40 (1時間30分)

① 演題 「糖尿病診療における医療連携の必要性」

講師 木沢記念病院 内分泌代謝内科部長 高見和久 先生

② 演題 「糖尿病医療連携における看護職の役割」

講師 木沢記念病院 糖尿病看護認定看護師 加藤千恵 氏

(4) 質疑応答 : 15:40～16:00 (20分)